

子どもが誤飲した時の応急処置

少量であれば、あまり心配しなくてもいいもの

ただし何か症状があった場合には病院を受診しましょう

飲み込んだ物	危険度	水分を取らせてもよいもの*	おうちでの応急処置
紙	★	水分を取らせてもよい 	喉に引っかかったりせず、飲み込んでしまったのであれば、自宅で様子をみましよう。
クレヨン	★		主成分はろうそくのロウと顔料です。食べてしまっても心配ありません。
水彩絵の具	★		水彩絵の具は中毒の心配はありません。
粘土	★		少量であれば心配ありません。 小麦粘土はアレルギーがある場合にはすぐに受診しましょう。
シャボン玉液	★		製品の毒性は高くありません。少量であれば自宅で様子をみましよう。ストローから吸い込んでしまうことが多いので、小さなお子さまは、シャボン玉遊びはしないようにしましよう。
化粧水	★		エタノールというアルコールの成分が含まれているので、たくさん飲むと、お酒を飲んで酔っ払ったようになります。なめたり、一口程度であれば、様子をみましよう。
クリーム・口紅	★		油性成分があるので、大量に食べると吐いたり、下痢するかもしれませんが、通常お子様が食べる量であれば、ほとんど心配ありません。
石鹸	★		製品の毒性は高くありません。自宅で様子をみましよう。
シャンプー	★		口の中や喉の粘膜の刺激はありますが、お子さまが飲む程度の量であれば、中毒の心配はほとんどありません。 吐いたり、腹痛があれば受診しましよう。
台所用洗剤	★★		弱酸性、弱アルカリ性、中性の洗剤であれば毒性は高くありません。 少量であれば口をすすいで、様子をみましよう。
芳香剤	★		ゲルや粒状の製品であれば心配ありません。 液体やスプレーの製品はアルコール類が使用されているので、大量に飲んだ場合には受診しましよう。
シリカゲル(乾燥剤)	★		消化管から吸収されないため、ほとんど毒性はありません。家庭用の小さな包装されている量であれば、食べても中毒の心配はありません。
体温計の水銀	★		体温計の水銀は金属水銀で、かつて水俣病を引き起こした有機水銀化合物とはちがうものです。体内にはほとんど吸収されずに、うんちとして排泄されます。
蚊取り線香	★		含まれる殺虫成分の量は少なく、ほとんど心配ありません。ただし使用中であればやけどに注意しましよう。
パラジクロロベンゼン(防虫剤)	★★★★	水  ×牛乳 	少量であればあまり問題になりません。 牛乳をのませてもはいけません。体への吸収が早くなります。大量に食べた場合には、すぐに受診しましよう。

*水分を飲ませることは必須ではなく、飲ませることは嘔吐のリスクがあることに留意しましよう。
また痛みや吐き気など症状があるときには何も飲ませてもはいけません。

子どもが誤飲した時の応急処置



すぐに受診しなければならないもの

飲み込んだ物	危険度	水分を取らせてもよいもの*	おうちでの応急処置
ボタン電池	★★★★★	なにも 飲ませない 	電圧の高いリチウム電池は特に危険。 すぐに受診しましょう。
複数の磁石	★★★★★		特に磁力の強い磁石は、お腹の中で磁石同士がくっついて、胃や腸に穴が開くことがあります。すぐに受診しましょう。
釘、画鋸など鋭利な物	★★★★		すぐに受診しましょう。
たばこ	★★		小さなお子さんでは、 タバコ1本に含まれるニコチンが致死量になります。 食べたタバコの量が2cm以内であれば 自宅で様子を見ましょう。
ホウ酸団子	★★★★	水分を 取らせても よい 	市販されているものであれば、 1/4個以上食べていると中毒の危険があります。
香水	★★		エタノールというアルコールの成分が 高濃度で含有されています。 お酒に酔っ払ったような症状がみられます。 なめた程度であれば 自宅で様子を見ていても大丈夫ですが、 5ml以上の飲んだ時には、受診しましょう。
しょうのう(防虫剤)	★★★★	なにも 飲ませては いけません 	毒性が高く、少量でも危険です。 かけらでも食べている場合には、すぐに受診しましょう。 なにも飲ませてはいけません。 痙攣を起こしてしまうので、吐かせてはいけません。
ナフタリン(防虫剤)	★★★★	水 ×牛乳  	かけらでも食べている場合には、すぐに受診しましょう。 牛乳を飲ませてはいけません。
油性絵の具	★★★★	水 ×牛乳  	顔料に含まれている重金属による 中毒を起こす可能性があります。 すぐに受診しましょう。 牛乳を飲ませてはいけません。

*水分を飲ませることは必須ではなく、飲ませることは嘔吐のリスクがあることに留意しましょう。
また痛みや吐き気など症状があるときには何も飲ませてはいけません。

電話で相談
することも
できます

大阪中毒110番

365日
24時間対応

072-727-2499

つくば中毒110番

365日
9~21時

029-852-9999

子どもが誤飲した時の応急処置



すぐに受診しなければならないもの

絶対に吐かせてはいけないもの

飲み込んだ物	危険度	水分を取らせてもよいもの※	おうちでの応急処置
灯油、ガソリン	★★★★		誤って気管に入った場合、肺炎を起こします。吐かせずに、すぐに受診しましょう。
マニキュア・除光液	★★★★	なにも飲ませてはいけません ✕	身近な化粧品の中では最も毒性が高く、危険です。誤って気管に入ってしまうと化学性の肺炎を起こすので、吐かせずに、すぐに受診しましょう。
液体蚊取り	★★★★		石油系の溶剤が含まれていて、誤って気管にはいってしまうと、化学性の肺炎をおこします。吐かせずに、すぐに受診しましょう。
塩素系漂白剤	★★★★		口にすると少量でも粘膜がただれてしまい危険です。吐かせずに、すぐに受診しましょう。
洗浄剤 (トイレ、排水パイプ用)	★★★★	水分を取らせてもよい※ ☺	酸性、アルカリ性洗剤を飲み込んだ場合、口、食道、胃などの粘膜がただれます。原液や濃厚なものを少しでも口に入れた場合には、吐かせずに、すぐに受診しましょう。
生石灰(乾燥剤)	★★★★		水に触れると熱を発生して口の中や食道の粘膜を火傷します。吐かせずに、受診しましょう。

※水分を飲ませることは必須ではなく、飲ませることは嘔吐のリスクがあることに留意しましょう。また痛みや吐き気など症状があるときには何も飲ませてはいけません。

